

- ◆日時:令和4年6月 27 日(月) 10:00~11:30
- ◆場所:中井町保健福祉センター 3階 研修室
- ◆出席:<委員>坂本通泰、早野茂、石渡正次、小澤勲、加藤彰吾、相原尊行、西田統、鶴井淳(敬称略)
<事務局>天野泰、加藤裕美、山口早苗
<業務受託者>黒崎晋司、田中史志

- ◆議題:(1)現行健康増進計画・食育推進計画の事業評価について
資料1 健康増進計画・食育推進計画事業評価(後期計画:平成 29 年度~令和 3 年度)
- (2)次期健康増進計画・食育推進計画の策定について
資料2-1 計画策定のポイント
資料2-2 施策の体系(タタキ台案)
資料2-3 主な事業×ライフステージ(タタキ台案)
- (3)その他
資料 健康増進アンケート 世代別ワーククラウド

議題(1)現行健康増進計画・食育推進計画の事業評価について

資料1にもとづき事務局から説明し、事業ごとの評価について検討した。主な意見は以下のとおり。

事業「親子が集う交流の場『わきあいひろば』の利用促進・活用」について

委員:コロナ禍の出口が見えない状況のなか、窓口対応以外も含めてコミュニケーションをどのように確保するかが大切であり、がんばってほしい。

事業「なかいっ子わくわく食学び大作戦」について

委員:応募が 220 点もあるので1回で終了するのはもったいない気がする。

事業「禁煙応援作戦」「おとなの体力UP事業」「元気食でおとなの健康づくり」「働く世代のこころの健康づくり」について

委員:計画期間における町民の年齢ステージを考慮した受け皿について検討してほしい。

事業「働き盛りのウォーキングのすすめ」「1日1体操!」「健診を受けてポイントゲット!」「健康情報発信事業」について

委員:ラジオ体操を知らない小学生も多く、おじいちゃんやおばあちゃんと一緒に体操するなどの対応も考えられる。学校だけでなく職場等での取組も考えられる。

事業「シニア入門リーフレット配布・シニア入門講座」について

委員:ターゲット層に好感をもって受けとめられるように用語なども工夫すると良いと思う。大きな目標のひとつである健康寿命の延伸について、統計データを取るのには難しいらしいが、同じ 60 歳でも 10 年前とは感覚が大きく異なると思うので、報告できると良いと思う。

以上の意見等をふまえつつ、各事業の評価について承認された。

議題(2)次期健康増進計画・食育推進計画の策定について

資料2-1、2-2、2-3にもとづき、事務局から説明し、検討した。主な意見は以下のとおり。

事務局：計画を改定するにあたり、①細かな事業は整理するなど、町民に分かりやすい計画とする、②計画の検討にあたり、未来志向で検討を進めたい、③策定して終了ではなく、策定してスタートする使える計画にしたい。

委員：疾病への対策には、ガンだけでなく心疾患なども高い比率を占める。ガンや心疾患に対しては、健診を増やすことが重要である。

委員：体系図について、4つの基本方針ごとに基本施策を整理する方法と、基本方針が各基本施策に関連しているので整理せずにまとめて表示する方法の二通りの考え方がある。

事務局：4つの基本方針は、各基本施策に共通し重なる内容もあることから、あえて整理しない形としている。

委員：基本方針の「健康・食による地域づくり」がピンとこない。

事務局：本計画の実施主体は町民一人ひとりであり、町としては町民の取組をサポートしていく役割を担うことが基本と考える。そうした性格を有した計画ではあるが、町が策定する計画であり公共的な面も位置付けたいとの考えから、健康づくりや食育の活動をつうじて、地域のコミュニティづくりが広がっていくことを目指して、「健康・食による地域づくり」を基本方針に加えた。

委員：本計画は、町民自身が実施していく性格の計画であり、総合計画等とは異なることは理解できる。そのうえで、高齢者の年齢区分など実態に合う形でライフステージの区分を見直していく必要がある。

委員：「健康・食による地域づくり」に関しては、あくまでも健康づくりや食育を進めていくことを基本としながら、その結果として地域づくりにつながる形で示せると良いと思う。

以上の議論をつうじて、計画策定のポイント、施策の体系、主な事業×ライフステージについて、基本的に承認された。

その他

- ・昨年度実施した町民アンケート調査結果のうち、自由意見を集約した資料を事務局から説明した。
- ・次回の推進委員会は、10月上旬に開催の予定である。
- ・本日欠席された委員には、資料とともに、別紙「意見書」を送付する。

以上